

団体等運営費補助金の見直しに関する 提言書が提出されました

町では、行財政運営の指針となる「白岡町改革推進プログラム」に基づき、現在、行財政改革を積極的に推進しているところですが、徹底した歳出削減に向けた取組に係る施策「補助金の見直し」について、改革推進町民会議において討議・検討を重ね、提言書としてまとめていただきました。

改革推進町民会議からの提言の要旨は次のとおりです。

○補助金の基本的な考え方

町が支出する補助金が、町民の税金等貴重な財源によって賄われており、その公益上の必要性は、じゅうぶん、かつ客観的妥当性を備えていなければならない。

また、その効果、成果、補助の適正額などを慎重に検討・評価する必要があり、その説明責任も大きい。

○補助金見直しの考え方（基準）

- 1 補助要綱等の整備（明確さの確保）
- 2 交付目的の明確化
- 3 補助金の性質による区分
- 4 行政の心構え（行政システムの見直し、前例主義）
- 5 会費のあり方（考え方）
- 6 用途の制限
- 7 下部組織等への再補助の検証
- 8 繰越金のあり方
- 9 実績報告等の方法及び有効性の検証
- 10 補助金交付団体の意識の向上
- 11 町民への説明責任（情報公開・PR）

○補助金に関するの附帯意見

- 1 廃止を視野に入れた評価
- 2 情報公開の徹底
- 3 「事業費補助」と「運営費補助」のあり方
- 4 「定率補助」の原則
- 5 補助金事務の公正性・透明性・効率性等
- 6 補助金に対する意識の向上

町では今後、この提言書に基づき団体等運営費補助金について積極的に見直しを行っていきます。

この提言書は、町公式ホームページに掲載するほか、政策財政課窓口でも閲覧することができます。

問合せ 政策財政課改革推進室 内線365



内山委員長（左）から提言書を受け取る濱田町長（右）

平成十八年度 人権標語

町内の小・中学生に対し、標語を通じて人権尊重の重要性、必要性について理解を深めてもらうため人権標語を募集したところ、多数の作品が寄せられました。このうち、特選に選ばれた作品をご紹介します。

こえかけて

みんなともだち なかよしだ

篠津小学校 2年生

小川 敬土さん

いのちは

リセットできない たからもの

南小学校 2年生

伊藤 拓海さん

さし出そう

やさしい気持ちと その笑顔

白岡東小学校 4年生

水田 浩貴さん

笑顔だけ

あれば心が 通じ合う

大山小学校 5年生

渡邊 里沙さん

やめようよ

差別いじめを 見ないふり

西小学校 5年生

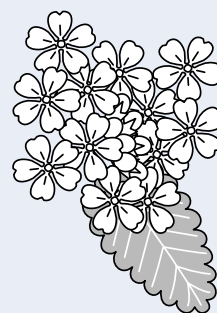
浜崎 彩那さん

傷つける

言葉の刃物は 捨てましょう

菫我小学校 6年生

大久保 克哉さん



大丈夫？

その一言が 思いやり

菫我中学校 1年生

齋藤 豪さん

みんなの笑顔

一つ一つが 宝物

南中学校 1年生

岡部 梓さん

ひとりじゃない

つなぐその手が勇気をくれる

篠津中学校 3年生

伊藤 怜香さん

もっと見て

こどもの心 抱きしめて

白岡中学校 3年生

山内 匠さん

問合せ

生涯学習課社会教育係

内線274